

(陳受21第3号)

私立幼稚園入園を望む家庭への支援拡充に関する陳情

受理年月日

平成21年6月17日

陳情者

武蔵野市在住
二宮 光 ほか25名

陳情の要旨

先日、市主催の子育てヒアリングに参加いたしました。幼稚園の補助金の低さを指摘する方が多くいらっしゃいました。

実際、近隣の区などに比べて少なく、例えば、隣の練馬区と比較した場合、入園料補助金で練馬区4万円に対して武蔵野市は3万円、保育料月額1万9,200円を超える幼稚園の場合の保育料補助金で、練馬区は区市町村民税所得割額による制限を設けず一律1万1,200円補助であるのに対して、武蔵野市は所得割額を5段階に区分して5,000円から1万1,200円まで補助金額を分けています。さらに江戸川区などは、入園料1,000円・保育料月額3,000円の最低負担額はあるものの、8万円を限度とする入園料補助金や、月額2万6,000円を限度とする保育料補助金を所得制限を設けず一律補助し、さらには、所得の状況に応じての助成ではあるものの、年5万9,200円から26万円の就園奨励費補助金もあるなど、子育て支援という観点では武蔵野市との大きな格差を感じざるを得ません。

また、そのような理由から、幼稚園入園を機に、支援制度の手厚い自治体へ引っ越す人も多いと聞いています。

昨今の世界的経済不況で、給与の減額、残業代のカットなど、私たちの生活も直接的影響を受け始めています。幼稚園に通園させたいと願っても学費が障害となって断念せざるを得なかったり、入園しても学費を払い続けることが困難になったりと、幼児教育の機会を失ってしまう事態もあり得ます。

子どもの社会生活の第一歩である幼稚園について、妥協することなく、安心して、子どもに合った園を選べるのは当然のことだと思います。

「保育園は親のため」「幼稚園は子どものため」の場所と聞いたことがあります。ぜひ、「子どものための幼稚園」の、各種補助金(私立幼稚園の就園奨励費補助金、入園料補助金、保育料補助金等)を、江戸川区並みとする、もしくは少しでもそれに近づけるよう、拡充願います。